

輝北

5月13日、きほく上場公園で第18回南日本クロスカントリー大会INきほくが開催されました。大会は、ファミリーの部1.2kmから一般8kmまでの8種目で行われ、564人のランナーが参加。あいにくの濃霧で視界がほとんど利かないという状況でしたが、参加者は、標高500mの起伏に富んだ厳しいコースに果敢に挑んでいました。

上場の丘を駆け抜けた
クロスカントリー大会



- 中学女子 2 km = 溝口りか(市成中学校)
- 中学男子 3 km = 吉野徹(財部長距離クラブ)
- 高校・一般女子 3 km = 西山可織(鹿屋高校)
- 高校・一般男子 5 km = 中満悟(国分自衛隊)
- 一般男子 3 km = 鶴木竜二(えびの市)
- 一般 8 km = 久保山記年(国分自衛隊)
- グループの部 1.5 km = 本高和弘・本村鯉恵・本村亜蘭(霧島市)

KIHOKU

吾平



吾平のカボチャは
安全でおいしいよ

5月2日、吾平町麓の中央西地区ふれあい農園で、春カボチャのはさみ入れ式が行われました。式には、生産者や関係機関などから約50人が出席。ハウス内にたわわに実った春カボチャを、高値での取引に期待を込めながら、一つひとつ丁寧にハサミを入れ収穫していました。吾平地区のカボチャは化学肥料を使わない栽培で、JA鹿児島県特別栽培農産物の認証と、吾平地区独自の美里吾平ブランドの認証も受けています。直径約25cm、重さ約2kg～2.5kg。吾平地区の約70戸13.8haで栽培されており、5月中旬から関東地区を中心に約345トンの出荷が予定されています。

AIRA

鹿屋

スポーツ大会で交流



6月3日、市体育館で鹿屋市保健福祉ふれあいスポーツ大会が開催されました。これは、高齢者や障害者、母子寡婦の方々にスポーツを通して交流を深めてもらおうと毎年開催しているもの。当日は約1,000人が参加して、大きなゴム玉を二人一組でリレーする「ゴム玉リレー」など10種目の競技で元気いっぱい体を動かし、館内には笑顔と歓声がひらぎっていました。

鹿屋

5月12日、市内のホテルで、ばらを活かした地域づくりに取り組んでいる全国の自治体が集う第15回ばら制定都市会議(ばらサミット)が開催されました。会議には、加盟している21自治体のうち11自治体から約100人が参加。「ばら園をピアガーデンとして開放している」「ばらの花宅配ギフトサービスを行っている」など、各自自治体が独自の取り組みを紹介したほか、『市民協働でばらを活かしたまちづくりを積極的に推進し、地域再生を図る』とする「かのや宣言」を全会一致で採択しました。また、翌13日には、かのやばら園で参加した自治体がばらの記念植樹を行いました。

第15回ばら制定都市
会議(ばらサミット)を開催



KANOYA

串良

5月3日、串良町上小原の柳谷町内会が、集落ぐるみの営農活動などで生まれた収益の一部をボーナスとして、全110世帯に1万円ずつ還元しました。同町内会では、サツマイモの栽培をはじめ、土着菌による堆肥の製造販売やそば店の経営などに取り組み、その収益を活用して独居老人宅への緊急通報装置や集落全戸への防犯ベルの設置を行うなど、行政に頼らない地域づくりを進めています。式典には、同町内会の70人が出席。豊重町内会長が、「このボーナスは10年間の汗と涙と協働の証です。これからも一日一日を大切に頑張って行きましょう」とあいさつして、手作りの封筒に入れたボーナスを手渡しました。

全世帯に
ボーナス1万円を還元



KUSHIRA



鹿屋

KANOYA

菜の花でトラックを走らせよう



5月22日、菜種油でトラックを走らせる「鹿屋菜の花エコプロジェクト」の収穫祭が、鹿屋農業高校の実習用水田で行われました。

このプロジェクトは、環境対策に取り組む鹿児島県トラック協会と鹿屋農業高校が共同で実施したものです。収穫した菜種約700kgは、食用油として同校の寮で利用したあと、バイオディーゼル燃料に精製。軽油の代替燃料としてトラック等で利用します。

鹿屋

KANOYA

鹿屋地区沿岸海難事故対策訓練を開催



5月20日、鹿屋港で鹿屋地区沿岸海難事故対策訓練が行われました。

この訓練は、鹿屋地区小型船舶遊漁船協議会等が、官民一体となった海難救助訓練により海難を未然に防止しようと、今回初めて行ったもので、同協議会、喜入海上保安署、大隅肝属地区消防組合中央消防署などから約50人が参加。海中転落者救助訓練や信号紅炎点火訓練などを行い、迅速で的確な救助活動の向上を図りました。

吾平

AIRA

一味違ったグラウンドゴルフ



5月14日、吾平町の中央東地区分館で、エキサイティンググラウンドゴルフ大会が開催されました。

このゴルフは一般に行われるグラウンドゴルフと違い、コースに丸太や竹、コンテナなどを置いたり、シートで池をつくるなど、たくさんの障害物を設置するのが特徴。子どもから高齢者まで70人が参加して、慣れない障害物に苦勞しながらも、一味違ったグラウンドゴルフを楽しんでいました。

鹿屋

KANOYA

新テッポウユリを初出荷



5月24日、川東町の運送会社で、新テッポウユリ「おごじょりりー」の初出荷発式（鹿屋市花き振興会主催）が行われました。

おごじょりりーは、上向きに開花することや他の産地に先駆けて出荷できることが特徴。現在、8戸の生産農家が175アールで生産しています。当日は関係者が見守る中、初荷3,400本を積んだトラックが大阪・名古屋の市場に向けて出発していきました。

鹿屋

KANOYA

東九州自動車道の早期完成を目指して！



5月30日、市文化会館で東九州自動車道の早期完成を目指す東九州自動車道建設促進地方大会が開催されました。

同自動車道は、北九州市を起点に大分、宮崎、そして鹿屋市を通り鹿児島市に至る全長436kmの高速自動車道で、現在、全体の2割程度しか供用されておらず、早期完成が待たれています。大会では、沿線の知事や住民代表が「高速道を使って、新鮮な野菜を全国に届けたい」など、建設促進を訴えたほか、「道路特定財源の道路整備への充当」や「平成19年度予算の確保」など7項目の大会決議を議決。最後は、会場を埋め尽くした約1,200人の参加者が『ガンパロー』と拳を突き上げ、東九州自動車道の建設促進をアピールしました。